九小スタンダード〈基本的指導過程〉

H30/5/15 教務

□にチェックし自己評価！

1　授業をする前に 授業した後に

□①授業の「ねらい」「指導方法・内容等」「前時の反応等」を週ごとの指導計画に位置付けている。
□②教室前面の掲示を減らし、黒板がすっきりしている。（日付を明示・道徳は第〇回を記載）
□③授業規律や授業のルールが学年・学校で共通理解・実践している。
□④「はい・立つ・です」の発言のルールを守り、最後までよく話を聴いて発言している。

2　授業準備

□⑤授業開始の前に、机の上に教科書・ノート等をそろえている。
□⑥授業開始の時間を守り、挨拶と学習の導入をスムースに始めている。

3　授業実践　導入

□⑦授業の挨拶をしている。
□⑧既習事項及び生活体験を押さえ、学習意欲を引き出す問いや導入を工夫している。
□⑨「単元名」、「学習のめあて」を明示し、学習の流れやポイントをホワイトボードで示している。
□⑩「学習問題（課題）」及び「仮説（予想＋理由）」を立てさせている。

ＩＣＴの活用

4　授業実践　展開

□⑪短答式、ひとまとまりの考えを答えさせる発問など、意図的・効果的な発問を工夫している。（「いつ・どこで・何が・誰が・どうした？　式は・答えは？」→「どのように？なぜ？何のために？」「もし～だとしたら？」「どうすれば？」）
□⑫児童・生徒の表情をよく観察し、児童・生徒のつぶやきを取り上げるとともに、机間指導等で児童・生徒の学習状況を把握している。
□⑬学習のポイントや思考の過程が見える構造的な板書をしている。
□⑭児童が自分の考えをもち、表現できる場を工夫している。（ペア、グループ、全体）
□⑮児童・生徒の学び合い（相互評価）の場を設定している。（比較・関連付け・統合）

ＩＣＴの活用

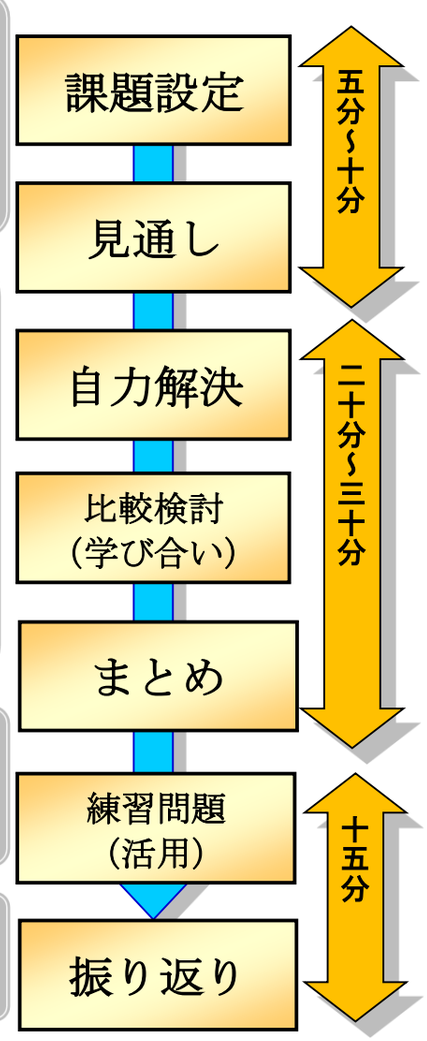
5　授業実践　まとめ

□⑯児童が学習を振り返り、分かったことやできたことを自分の言葉でまとめている。
□⑰児童・生徒を机間指導で評価し、到達度も把握している。
□⑱学んだことを，ノートやワークシートに分かりやすく書かせている。

6　授業終了時・後

□⑲授業終了の時間を守り、学習中のよさを伝え、挨拶をしている。
□⑳習得した知識・技能を、補充・活用する課題（宿題）を出し，次の学習に生かしている。

展開モデル



達成目標

※自己申告で、それぞれの時期の目標を設定してください。７月までは７０％（１４項目）、１２月までは８０％（１６項目）、２月までは９０％（１８項目）達成

九小スタンダードにおける言語活動５

H30/5/4 教務

４　授業実践　展開⑭（児童・生徒自らの考えを表現できる場を設定している）における言語活動５点

A　体験から感じ取ったことを伝え合う

B　調べた事実を正確に理解し、理解したことを伝え合う

C　発見したきまり・ルール・しくみなどを伝え合う

D　自ら得た情報から必要な情報を取り出し、比較・関連付ける

E　互いに考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる

小学校
低学年

小学校
中学年・高学年

小学校・高学年
中学校

ＩＮＰＵＴ
〈読み解くプロセス〉

連続テキスト（文章）や非連続テキスト（図表・グラフ・写真等）から必要な情報を正確に取り出す力

取り出した複数の情報を比較・関連付けて読み取る力

読み取った内容の意図や背景、理由を考えて理解・解釈・推論して解決する力

ＯＵＴＰＵＴ
〈話型〉

Ⅰ　主張
「私は・・・・だと思います。」

Ⅱ　理由・根拠
「なぜかというと・・・・だからで

Ⅲ　意思決定
「だから私は、これから・・・します。（していきます。）」